

# **個別事業説明書【PR版】**

**観光スポーツ文化部**

# 1 地域密着型プロスポーツにぎわい創出事業費

若者の新規ファン獲得を図るため、プロスポーツ球団と連携して出会いの場を創出するほか、県民の応援機運を醸成するため、県民とプロスポーツ選手とが直接交流する機会を設け、地域の活力やにぎわいの創出につなげる。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局スポーツ局  
 地域スポーツ課  
 (089-947-5470)

## 事業イメージ

**KPI** 4球団ホームゲームの1球団当たり平均観客数  
 現状値 1,700人 (R4年度)  
 目標値 2,150人 (R7年度)  
(150人/年増)

**現状** コロナ禍の影響もあり、本県プロスポーツ4球団の観客数が減少  
 (回復傾向が見られるものの、R4実績はコロナ前の8割程度)

**課題**  
 ・若年層ファンの新規獲得  
 ・選手と直接交流できる機会が減少

**対策**  
 ・ホームゲームで若年層の男女が気軽に参加できる出会いイベントの開催  
 ・選手を身近に感じることのできる4球団合同の交流会の開催



プロスポーツ4球団に対する興味・関心を喚起し、県民全体の応援機運醸成を図る！！

## 事業概要

【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

- 1 プロスポーツ出会い支援事業 5,808千円**  
 若年層がプロスポーツに興味を持ち、観戦へ足を運びきっかけをつくるため、県内プロスポーツ4球団のホームゲームイベントで、県内独身男女が気軽に会えるイベントを開催する。  
 (1) 対象試合 愛媛FC、愛媛MP、愛媛OV、FC今治のホームゲーム  
 (2) 参加者 20～30歳代40人(男女20人ずつ)/回  
 (3) 実施内容(例) スポーツ体験、グルメツアー、観光ツアーなど(試合観戦とあわせて実施)  
 (4) 委託先 民間事業者
- 2 えひめプロスポーツ大交流会 3,364千円**  
 プロスポーツ4球団の選手と県民が直接交流する機会を設け、選手を身近に感じることで、応援機運を醸成する。  
 (1) 開催時期 令和5年12月～令和6年1月  
 (2) 場所 愛媛県武道館  
 (3) 参加者 約2,000人(一般公募:200人、観客:約1,800人)  
 その他オンライン視聴  
 (4) 実施内容(例) 交流会、スポーツ体験コーナー、大抽選会、トークイベントなど  
 (5) 委託先 民間事業者
- 3 一市町一選手応援事業 ゼロ予算事業**  
 各市町毎に応援する選手を定め、シーズンを通して応援し、選手は市町イベントへの参加等により応援機運を醸成する。



## 2 野球文化交流促進事業費

令和5年度当初予算(案)  
予算額 25,637千円

本県において「野球」は、スポーツの垣根を超え、広く県民に浸透し、他競技とは一線を画する「文化」として根付いている。その「野球文化」を大切に守りながら次世代に引き継ぐため、「野球」を切り口に、スポーツ・文化・観光面での交流を促進することにより、本県の認知度向上と交流人口拡大による地域経済の活性化を図る。

お問い合わせ先  
観光スポーツ文化部スポーツ局  
地域スポーツ課  
(089-947-5470)

### 事業イメージ

**KPI** 野球文化交流人口  
現状値 22,000人(R1~3年度累計)  
目標値 79,000人(R5~7年度累計)

### 事業概要

本県において「**野球**」は、県民の生活に深く根付き、他県に誇れる**野球熱の高さを有するスポーツの域を超えた「文化」**である

- 多くの野球殿堂入りや名将の輩出
- 夏の選手権大会勝率1位の座を長年に渡り保ってきた野球競技力の高さ
- 地方球場史上初3度のオールスターゲーム開催
- 野球をテーマにした祭りの開催 等

この「**野球文化**」を大切に守りながら、次世代に引き継ぐ

野球関連事業により培ったノウハウや  
中央野球界との人的つながりを最大限活用

- 偉人・名将の顕彰
- 近藤兵太郎氏をゆかりとした台湾とのスポーツ・文化交流

- ハイレベルの大会等の誘致
- 「プロ野球球団」四国誘致の可能性調査

- 全国初のベースボール・ラボ常設化への取組み支援
- 交流試合補助
- 指導者強化補助

**スポーツ・文化・観光面での交流を促進**

#### 1 野球を切り口としたスポーツ・文化・観光の交流促進【10,350千円】

- 野球熱の維持・醸成に向けたコンテンツの発掘と本県の特徴を活かした国際交流の促進
- (1)本県の偉人を掘り起こし、広くPRするため、野球殿堂入りを果たした本県ゆかりの偉人(11名)や全国大会ベスト8以上の名将の顕彰[4,400]
  - (2)本県の特徴を活かした台湾(嘉義市)野球チームとの交流試合等の実施[5,950]
    - ①交流試合のほか、双方球児による食・観光・歴史・文化面での交流の実施
    - ②野球以外の競技での交流に向けたシンポジウムの開催
- ⇒取組みを広くPRし、近藤兵太郎氏の野球殿堂入りを後押しする。

#### 2 野球の魅力に触れる機会の提供【7,412千円】

- 培った人脈を生かしたハイレベル大会の誘致等による県民の興味喚起や交流人口拡大
- (1)東都大学野球秋季リーグ開幕戦誘致開催[2,000]
  - (2)U-15アジア選手権大会誘致開催 [4,000]
  - (3)プロ野球16球団構想動向調査 [1,112]
  - (4)セールシート等作成 [300]

#### 3 競技力向上の後押し【6,154千円】

- 選手・指導者への継続的な支援による野球熱の礎となる競技力の向上
- (1)ベースボール・ラボ(野球能力測定会)の全国初常設化に向けた取組支援[3,000]
  - (2)県外強豪校への遠征・交流試合の補助[2,000]
  - (3)指導者講習会への講師派遣 [1,154]

#### 4 事務費【1,721千円】

関係機関、競技団体等との連絡調整



### 3 障がい者スポーツ魅力度向上推進事業費

令和5年度当初予算（案）  
予算額 4,800千円

お問い合わせ先  
観光スポーツ文化部スポーツ局  
地域スポーツ課  
(089-947-5470)

コロナ禍の長期化に伴い、障がい者のスポーツ意欲の低下や社会参加の停滞が課題となる中、まずは障がい者にスポーツへの興味・関心を持ってもらうため、本県ならではの魅力あふれる障がい者スポーツを創出し、スポーツ機会の増加を通じた障がい者の健康増進と社会参加の促進を図る。

#### 事業イメージ

**KPI** 新たに障がい者スポーツ競技に取り組む人数 現状値 -  
目標値 600人(R5~7年度累計)  
(200人/年)



#### ★令和5年度は、フライングディスクの魅力度向上に取り組む★

☆♪夜でも実施できるおしゃれな障がい者スポーツに☆♪

- 夜でも屋外で競技ができるように用具を改良（光と音による派手な演出）
- 改良は、県内モノづくり企業等とタッグを組み開発
- 改良した用具を競技団体が導入した場合、導入経費の一部を補助
- 夜に屋外で開催する大会を県主催で開催し、積極的に全国へ発信



フライングディスク（R5）



ボッチャ（R6想定）



陸上（R7想定）

#### 事業概要

**1 フライングディスク改良用具導入支援事業 1,800千円**  
県内モノづくり企業と連携し開発した競技用具を、競技団体が導入する際の経費を支援する。

- (1) 交付先 県障害者フライングディスク協会
- (2) 補助率 3/4

**2 夜のフライングディスク大会開催事業 1,900千円**  
「夜に屋外で開催する」という唯一無二の特色を有する障がい者フライングディスク大会を県主催で開催する。

- (1) 日時 R5年9月 日没後～
- (2) 場所 城山公園（松山市）
- (3) 参加者 県内の障がい者・健常者 計100名
- (4) 主催 県（主管：県障害者フライングディスク協会）
- (5) 委託先 民間事業者

**3 障がい者スポーツ魅力度向上情報発信事業 1,100千円**  
夜のフライングディスク大会の様子を撮影した動画の公表など、本県の先進的な取組みについて、積極的に情報発信することにより、障がい者のスポーツ意欲の向上を図るとともに、競技の普及を促進する。

## 4 eスポーツ普及促進事業費

障がいの有無や程度にかかわらず競い合い楽しめるeスポーツを普及していくことで、障がい者の社会参加の促進と、障がい者に対する理解促進を図り、共生社会の実現を目指す。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局スポーツ局  
 地域スポーツ課  
 (089-947-5470)

### 事業イメージ



施設等でeスポーツに取り組む障がい者の人数  
 現状値 400人 (R4年度)  
 目標値 1,000人 (R7年度)

### 事業概要

令和2～4年度

(各施設のeスポーツ活動について)  
 全面的に支援

令和5年度

(各施設のeスポーツ活動について)  
 自発的な活動を支援

### 令和5年度事業

- ・ イベント開催経費やeスポーツ機器の購入経費の支援
- ・ 地元学生による各施設のeスポーツ活動に対するフォロー
- ・ eスポーツアドバイザーによる訪問指導や情報発信
- ・ 重度障がい者向けのコントローラーの開発
- ・ 県主催eスポーツ大会の開催



障がい者施設の自立的なeスポーツ活動の促進  
 &  
 県内障がい者へのeスポーツの普及拡大

**障がい者の可能性を  
 さらに広げる取り組みへ！**

- 障がい者eスポーツ交流促進事業** **2,250千円**  
 県内障がい者施設の自立的なeスポーツ活動を促進するため、イベント開催経費やeスポーツ機器の購入経費を支援（補助率：3/4）  
 (1)eスポーツ交流イベント開催支援事業〔新規〕  
 (2)eスポーツ機器導入支援事業
- eスポーツモデル施設活動フォローアップ事業** **890千円**  
 地元大学の学生が、障がい者施設の活動に参加し、eスポーツ活動に関する助言を行うなど、学生が主体となった普及交流活動を推進
- eスポーツテクニカルアドバイザー設置事業〔新規〕** **314千円**  
 県出身のプロ選手をアドバイザーに認定し、障がい者施設へ派遣（助言・指導）
- 重度障がい者向けコントローラー開発・普及事業** **324千円**  
 県内企業や大学等と連携し、重度身体障がい者向けのコントローラーを開発し、より多くの障がい者に対してeスポーツの普及を図る。
- 「えひめeスポーツ大会」開催事業** **1,400千円**  
 県内外からeスポーツ関係者を集結させ、これまでの事業の成果発表やeスポーツ大会を実施し、障がい者に対するeスポーツ活用の可能性を広げる。
- eスポーツ普及促進情報発信事業** **1,600千円**  
 県独自の先進的な取組事例を県内外に広く情報発信し、更なる普及に繋げる。

## 5 国際スポーツ交流推進事業費

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局スポーツ局  
 地域スポーツ課  
 (089-947-5470)

東京2020大会でのホストタウン相手国・地域と、選手団の受入れや県内選手の派遣、コロナ禍でも実施可能なスポーツ交流を行うことで、友好関係の強化や県内競技力の向上を図るとともに、友好国等におけるスポーツ選手の知名度等を活用し本県の魅力をPRすることで、本県への誘客を促進する。

### 事業イメージ



国際交流事業の参加者数  
 (800人/年)

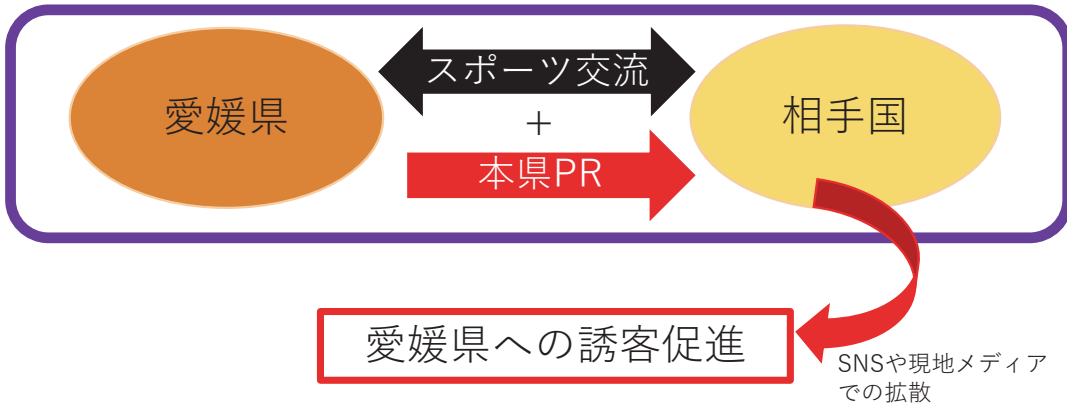
現状値 2,300人 (R1~4年度累計)  
 目標値 3,200人 (R5~8年度累計)

### 事業概要

#### ★東京オリ・パラ大会のレガシーの継承 ★ホストタウン相手国との交流継続・友好関係強化



- 1 えひめ国際スポーツ交流推進事業 12,260千円**  
 「えひめ国際スポーツ交流推進実行委員会」に負担金を拠出する。  
 【令和5年度えひめ国際スポーツ交流推進実行委員会事業計画】  
 (1) マレーシアバドミントン選手県内交流事業  
 (2) 台湾ポッチャ選手県内交流事業  
 (3) オンラインスポーツ交流
- 2 えひめ台湾スポーツ交流推進事業 1,200千円**  
 台湾への遠征やスポーツイベント参加に係る経費を補助する。  
 (1) 交付先 県スポーツ協会加盟団体等  
 (2) 上限額 30万円  
 (3) 補助率 1/3
- 3 日独スポーツ少年交流事業 315千円**  
 日本スポーツ少年団のドイツ派遣に係る経費を補助する。  
 1人当たり25万円×3人 = 75万円⇒県スポーツ協会や市町とともに負担



## 6 競技力向上対策本部事業費

国体をはじめとする各種全国大会や国際大会等での本県選手の活躍は、県民に大きな夢や感動、活力を与える。そのため、「愛媛県競技力向上対策基本計画」に基づき、効果的な競技力向上対策を推進することで、競技スポーツの振興を図り、「スポーツ立県えひめ」の実現を目指す。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化部スポーツ局  
 競技スポーツ課  
 (089-947-5453)

事業イメージ	KPI	国民体育大会天皇杯順位10位台 (入賞件数90件相当)	現状値 80件 (R4年度)	目標値 90件 (R8年度)
大会名	H29えひめ国体	H30福井国体	R1 茨城国体	R4 栃木国体
天皇杯	2位	12位	21位	23位
得点	2395.5	1235.0	1021.5	1003.5

### 競技力向上対策本部

「愛媛県競技力向上対策基本計画」に基づき①～④を推進する中心組織

#### ①競技水準の維持・向上

- ・競技力向上対策事業
- ・えひめトップグレード強化拠点校事業
- ・トップアスリート活用事業
- ・社会人・ジュニアクラブチームパワーアップ事業

#### ②ジュニアアスリートの発掘・育成・強化

- ・ネクストエイジ育成強化事業
- ・【一部拡充】ジュニアアスリートの国際交流  
海外からトップ選手やコーチを招へい  
⇒レリングのジュニア選手を強化 (R5)
- ・社会人・ジュニアクラブチームパワーアップ事業



#### ③指導者の養成・資質向上

- ・トップアスリート活用事業
- ・指導者レベルアップ事業

#### ④スポーツ医・科学の活用

- ※スポーツ医科学サポート事業  
(別事項予算)

競技スポーツの振興

国体入賞

UP  
四国予選突破

### 事業概要

【スポーツ推進基金充当事業】

- 1 競技力向上対策本部運営費** **7,622千円**〔本部直接執行〕  
愛媛県競技力向上対策本部の運営
- 2 競技力向上対策事業費** **155,575千円**〔41競技団体へ補助〕  
国体正式競技の競技団体が実施する強化事業への支援
- 3 えひめトップグレード強化拠点校事業費** **24,264千円**〔強化拠点校へ補助〕  
高い競技力などを持つ高校運動部(強化拠点校)が実施する強化事業への支援
- 4 トップアスリート活用事業費** **104,619千円**〔本部直接執行〕  
国体成績の向上等を図るために優れた競技力などを有するスポーツ専門員の活用
- 5 ネクストエイジ育成強化事業費** **44,954千円**  
(1)小学5・6年生及び中学生を対象とした育成・強化事業への支援  
40,831千円〔38競技団体へ補助〕  
(2)【一部拡充】ジュニアアスリートの国際交流  
4,123千円〔本部直接執行〕
- 6 社会人・ジュニアクラブチームパワーアップ事業費** **51,882千円**〔チームへ補助〕  
競技力向上と地域スポーツの振興のためにクラブチームの活動を支援
- 7 指導者レベルアップ事業費** **4,366千円**〔競技団体へ補助〕  
最新の指導技術を学ぶ講習会への派遣及び講習会の開催に係る経費の支援

## 7 えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業費

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化部スポーツ局  
 競技スポーツ課  
 (089-947-5453)

スポーツの潜在的な才能を有する子どもの発掘から育成、強化、競技適性を見極めまでの一貫支援体制を構築し、将来、オリンピックをはじめとする国際大会で活躍するトップアスリートの輩出に取り組む。

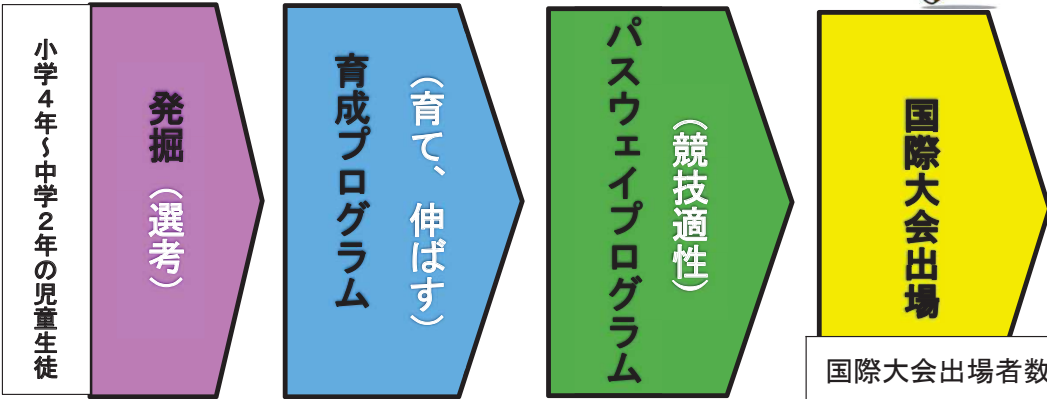
### 事業イメージ



国際大会年間出場者数  
 (過去最高水準5人/年の継続)

現状値 5人 (R4年度)  
 目標値 5人 (R6年度)

対象学年：小学5年～中学3年



募集  
 ファーストライアル  
 セカンドトライアル  
 最終確認  
 認定

身体能力開発  
 知的能力開発  
 保護者サポート  
 専門プログラム  
 特別プログラム  
 測定会

オーディション  
 特別オーディション  
 高評価者サポート  
 トライアウト参加

国際大会出場者数

R1	R3	R4
5	2	5

修了生に対する  
 フォローアップ

えひめハイパフォーマンス測定室（データ収集・分析）

### 事業概要

【スポーツ推進基金充当事業】

- 会議費 1,381千円**  
 選考委員会、育成プログラム委員会、パスウェイプログラム委員会の開催
- 選考費 2,412千円**  
 愛顔のジュニアアスリートの選考、認定  
 (1) **ファーストライアル**（新体力テストをもとに選考）  
 (2) **セカンドトライアル**（本県独自の実技テストをもとに選考）  
 (3) **最終確認** (4) **認定式**
- 育成費 18,706千円**  
 (1) **育成等プログラム**（11,239千円）  
 ・コーディネーショントレーニングを中心とした身体・知的能力開発プログラム  
 ・競技体験を中心とした専門プログラム・特別プログラム  
 ・コンディション管理アプリの活用 ・修了生のフォローアップ  
 (2) **パスウェイプログラム**（6,614千円）  
 ・オーディション（競技団体による適性評価）  
 ・ハイパフォーマンス能力測定室の活用 ・高評価者サポートプログラム  
 (3) **「えひめハイパフォーマンス測定室」運営**（853千円）
- 事務局費 6,098千円**  
 ・ホームページ運用管理費（本事業の目的・各プログラムの実施状況等）  
 ・事務局運営費



## 8 愛顔感動ものがたり発信事業費

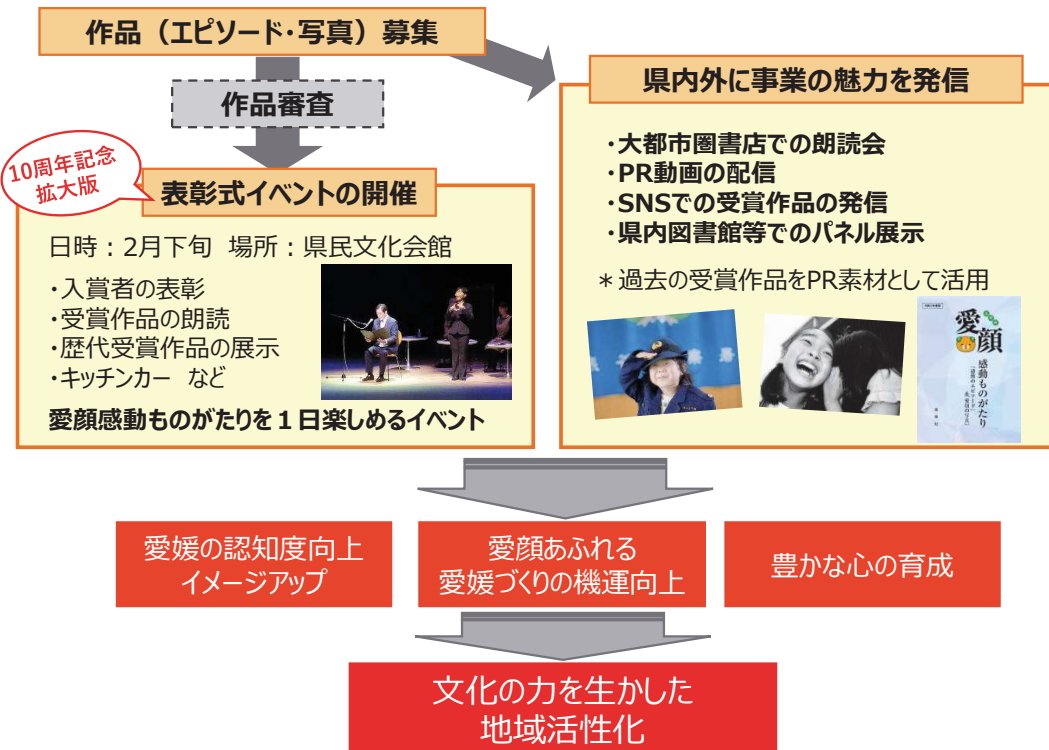
「愛顔」あふれる感動エピソード及び写真を募集し、受賞作品を広く発信することにより、本県のPRとイメージアップにつなげ、文化の力を生かした地域活性化を図る。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化部文化局  
 文化振興課  
 (089-947-5480)

### 事業イメージ

KPI	愛顔感動ものがたりの認知度 <small>（過去最高（R2:4,961件）を超える                  エピソード部門応募数 5,000件以上/年を目指す）</small>	現状値	32,929作品（H26～R4年度累計）
		目標値	38,000作品（H26～R5年度累計）

愛顔あふれるエピソードと写真を広く募集・発信することで、本県のイメージアップを図る。  
 令和5年度は**事業10周年**を記念して、表彰式イベントの規模を拡大し、PRを強化する。



### 事業概要

【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

- 1 作品（エピソード、写真）の募集、審査 5,534千円**
  - ・チラシ、ポスターの作成、配布
  - ・公募雑誌への広告掲載
  - ・一次審査（粗選）の外部委託
  - ・最終審査会の実施（審査委員：伊ッセー尾形氏、神野紗希氏、知事）
- 2 県内外でのPR 1,891千円**
  - ・大都市圏書店等での朗読会、パネル展示
  - ・PR動画の発信
  - ・SNS（Instagram等）での受賞作品等の発信
  - ・県内図書館、商業施設等でのパネル展示（ゼロ予算）
- 3 表彰式イベントの開催【拡充】 17,641千円**

時期 令和6年2月  
 場所 県民文化会館  
 内容

  - ・入賞者の表彰
  - ・審査員、一般朗読者等による受賞作品朗読
  - ・知事賞朗読動画の上映
  - ・過去10年間の受賞作品の展示
  - ・ミニ朗読会（歴代知事賞作品の朗読）
  - ・キッチンカー

※表彰式前に入賞者と審査委員の交流会を開催

## 9 愛媛国際映画祭開催事業費

これまで開催した愛媛国際映画祭の成果や関係者とのつながりを活かしつつ、映像文化に係る人材育成や、映画を切り口とした交流人口の拡大や地域活性化を図る。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局文化局  
 文化振興課  
 (089-947-5480)

### 事業イメージ

KPI	映像制作人材年間育成数	現状値	-
		目標値	200人（R5年度）
	愛媛国際映画祭参加者数 （コアイベント）	現状値	589人（R3年度 開会・閉会イベント）
		目標値	1,000人（R5年度）

### 愛媛国際映画祭の開催趣旨

優れた映像作品に接する機会の充実

文化芸術活動への理解促進

映像文化に携わる人材の発掘・育成

映画祭開催を通じた本県の情報発信

### 愛媛国際映画祭2023 実施予定内容

- ・コアイベント
- ・愛顔感動ものがたり映像化コンテスト
- ・映像制作ワークショップ 等



### 映像文化の担い手の育成



「映像化コンテスト」では、他の映画祭での受賞者など映像人材を相次いで輩出しており、成果に繋がっている。

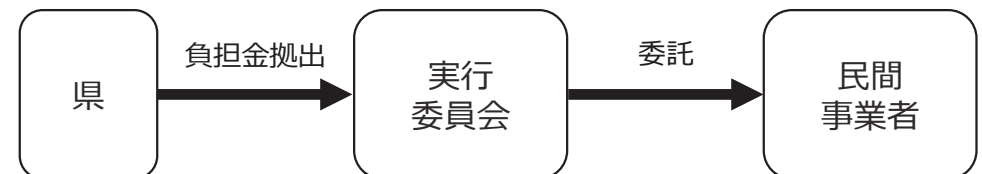
映画を切り口とした交流人口の拡大・地域活性化

### 事業概要

【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

- 愛媛国際映画祭2023コアイベント（仮称）の開催【新規】 6,000千円**  
 ・愛媛ゆかりの映画作品等の上映  
 ・8K映像など、先端技術を活用した映像作品の上映  
 ・映画監督ら関係者によるトークイベント・シンポジウム等の開催
- 「愛顔感動ものがたり映像化コンテスト」の開催【継続】 2,100千円**  
 「愛顔感動ものがたり」エピソード部門の前年度受賞作品のいずれか1作品を原作とした5分以内のショートフィルムを募集する。
- 映像制作ワークショップ等の開催【新規】 1,900千円**  
 映像制作の担い手のすそ野を広げるため、東京藝大や県内映像関係者と連携し、学生等のレベルに応じたワークショップ等を開催する。

### 《スキーム》





# 10 子ども舞台芸術鑑賞体験支援事業費

令和5年度当初予算（案）  
予算額 76,600千円

コロナ禍の影響により、県内の子どもは、学校行事はもとより、文化芸術鑑賞をはじめとする校外での学び・体験の機会が失われたことから、教育活動への支援策として、地域の伝統・文化や偉人等をテーマに通年で公演を行う「地域拠点型常設劇場」である「坊っちゃん劇場」に着目し、子どもの同劇場での鑑賞等を支援することで、子どもの郷土の文化や偉人等についての学び・体験の場とするとともに、本県文化の振興を図る。

お問い合わせ先  
観光スポーツ文化部文化局  
文化振興課  
(089-947-5480)

## 事業イメージ



郷土文化・偉人・舞台芸術に関心を持った  
子どもの人数  
(鑑賞した子どもの8割以上を目指す)

現状値 (参考) 鑑賞した子どもの人数 12,000人 (R3年度)  
目標値 72,000人 (R5～7年度累計)

## 事業概要

### 背景

★多様な体験・学びの機会

★文化芸術に親しむ機会

コロナ禍で減少・喪失

「坊っちゃん劇場」(国内唯一の「地域拠点型常設劇場」)  
→ 情操教育の場として活用  
(8市町で取り組み済 → 県下全域への拡大)

### 対策及び成果イメージ

県内の  
小中学生・  
高校生

劇場での鑑賞体験

地域拠点型  
常設劇場

出演者等との交流

舞台芸術の魅力を体験

- 郷土の文化や偉人等についての学び・発見
- 豊かな人間性の涵養

### 1 舞台芸術鑑賞支援事業

72,600千円

教育活動への支援策として、県内の小中学生や高校生を対象に、「坊っちゃん劇場」での鑑賞に係る同劇場までの交通費(バス借上げ代等)を支援する。

- (1) 支援対象者：愛媛県内の小中学生・高校生
- (2) 対象人数：30,000人
- (3) 支援内容：「坊っちゃん劇場」での鑑賞に係る交通費(バス借上げ代等)

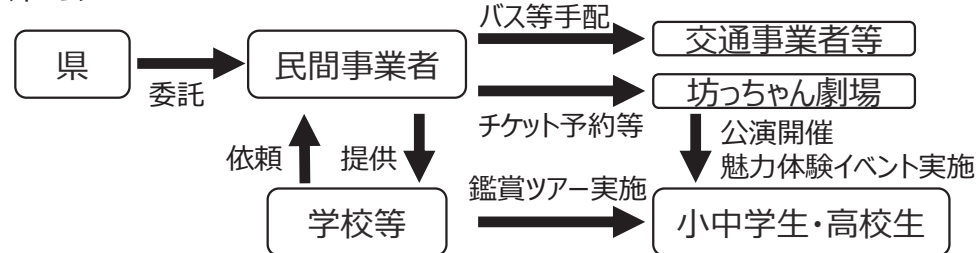
### 2 舞台芸術魅力体験事業

4,000千円

出演者と子どもが直接ふれあえる機会の創出等により、舞台芸術をより身近に感じてもらうとともに、演技指導・体験等を通じて、鑑賞だけにとどまらず、子どもの能力開発のツール等としても活用し、将来の舞台芸術の担い手等の育成に繋げる。

- (1) 実施内容(例)：交流会、演技指導・体験、バックヤードツアー、就労体験など
- (2) 開催時期：鑑賞時のほか、夏休み期間など、子どもが参加しやすい時期に実施
- (3) 開催場所：坊っちゃん劇場のほか、東予・南予など県内各地で開催

《スキーム》



# 11 総合観光プロモーション推進事業費

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化部観光交流局  
 観光国際課  
 (089-912-2490)

「疲れたら、愛媛。」を活用した効果的・効率的なプロモーションを展開するほか、県内体験コンテンツの発掘・利用促進やオンライン旅行会社を活用した宿泊旅行予約促進により、旅行者へのリーチから旅行実需の創出までの一気通貫した総合的なプロモーションを展開し、観光客数の増加を図る。

## 事業イメージ



新たに造成した宿泊プランの年間利用者数  
 (1,000人泊/年増)

現状値 1.5万人泊 (R4年度)  
 目標値 1.8万人泊 (R8年度)

## 事業概要

【デジタル社会形成推進基金充当事業】

テーマ：疲れたら、愛媛。

(「日々の生活等で疲れた心身を、愛媛で癒してもらいたい」を表現)

### 体験コンテンツの発掘・ブラッシュアップ及び利用促進

#### 4大アクティビティ

しまなみ海道サイクリング、石鎚山登山、  
 ジップライン、キャニオニング



#### 県内アクティビティ

・さんさん物語チャレンジプログラム  
 ・いやし体験プログラム 等



4大アクティビティを  
 起点とした周遊促進

専門家派遣によるブラッシュアップ  
 体験予約サイトへの登録促進 支援

### 効果的・効率的なプロモーション ～「疲れたら、愛媛。」～

デジタル広告、SNS発信、リアルイベント等による重層的なプロモーション

○ブランド動画や特集ページによる県の魅力を発信

○オンライン旅行会社での宿泊予約促進、体験コンテンツ予約促進

○旅行の実施（実需の創出）

### 1 体験コンテンツの発掘・利用促進 11,275千円

- (1) 体験予約サイトへの登録促進・プロモーションページ開設  
 オンライン予約対応の推進による受入環境の充実  
 4大アクティビティを中心とした体験コンテンツの発信による利用・周遊の促進
- (2) 新たな体験コンテンツの発掘・ブラッシュアップ  
 「さんさん物語」や「きずな博」等で培ってきた体験コンテンツのブラッシュアップ

### 2 観光ブランド発信事業 27,753千円

- (1) 観光ブランドイメージの発信
- (2) SNSを活用したプロモーション
- (3) 来県者に対するブランド価値の提供

### 3 観光PRイベントの開催 3,988千円

- (1) 関西圏での観光プロモーションの実施
- (2) ツーリズムEXPOジャパンへの出展

### 4 オンライン旅行会社を活用した宿泊旅行の促進 21,670千円

- (1) オンライン旅行会社サイト上へのプロモーションページ開設
- (2) ターゲットを絞ったデジタル広告の配信
- (3) 魅力的な宿泊プラン造成に向けたセミナーの開催

県

負担金

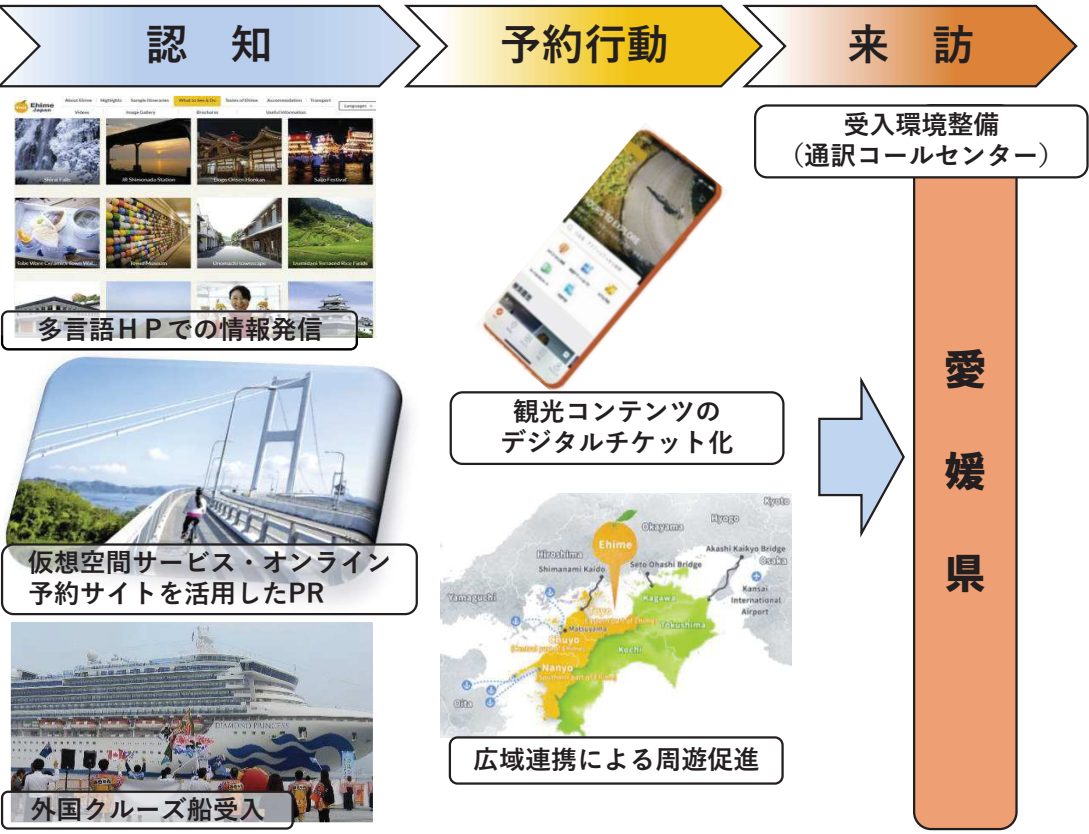
実施主体：四国観光立県推進愛媛協議会  
 (事務局：県)

# 12 外国人観光客誘致推進事業費

多言語ホームページの新規構築のほか、メタバース等のデジタル技術を活用した情報発信、交通事業者や周辺県と連携した広域周遊の促進等により、外国人観光客の誘致を推進する。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化庁観光交流局  
 観光国際課  
 (089-912-2490)

<b>事業イメージ</b>	<b>KPI</b>	新多言語観光ホームページの年間アクセス数 (リニューアルにより倍増を目指す)	現状値 140,000PV (R4年度)
		ホームページを閲覧し本県旅行を検討した人の割合 (3%/年増)	目標値 300,000PV (R6年度)
			現状値 54% (R4年度)
			目標値 60% (R6年度)



- 事業概要** 【デジタル社会形成推進基金充当事業】
- 多言語観光ホームページ構築・情報発信事業 50,000千円**  
 愛媛県多言語観光ホームページ「Visit Ehime Japan」をリニューアルし、新規ホームページを構築するとともに、SNS等の情報発信強化を行う。  
 (1) 多言語観光ホームページ構築事業  
 (2) 多言語SNS情報発信強化事業
  - インバウンド誘客DX推進事業 10,000千円**  
 メタバースやデジタルチケットを活用したプロモーションにより、インバウンド誘客を強化する。  
 ○航空関連会社が制作するメタバースプラットフォームを活用したプロモーション  
 ○旅ナカプラットフォームを活用したデジタルチケット化の推進とプロモーション
  - 広域連携による周遊促進事業 2,090千円 (県負担金)**  
 周辺県やJR等の交通事業者と連携し、外国人の広域周遊を促進する。
  - 外国クルーズ船受入支援事業 8,573千円**  
 市町の大型クルーズ船寄港時のおもてなしや感染防止対策等への助成を行う。
  - 本県の受入環境整備事業 3,300千円**  
 外国人観光客向けの通訳コールセンターを設置し、受入環境整備を図る。



# 13 インバウンド高付加価値化推進事業費

アフターコロナにおける県内のインバウンド受入体制や受入機運を醸成するほか、アドベンチャートラベルやサステナブルツーリズム、富裕層対策といった、新たな観光需要にも対応できる環境整備を強化・支援することで、高付加価値化を推進し、持続的かつ積極的な誘客促進を図る。

お問い合わせ先  
観光スポーツ文化部観光交流局  
観光国際課  
(089-912-2490)

### 事業イメージ

<b>KPI</b>	年間外国人延宿泊者数（欧米豪）	現状値 約2.2万人（R1年度）
	（専門家の分析に基づきコロナ禍前4割程度への回復）	目標値 約1万人（R5年度）

### 事業概要

## インバウンド受入体制や受入機運を醸成

**インバウンド  
ビジネスコンテスト  
による起業支援**

旅行商品開発  
宿泊施設の整備  
古民家再生  
2次交通支援 等



**事業者における  
受入環境整備を支援**

## アドベンチャートラベルや富裕層対策などによる「高付加価値化」

## 消費効果の高い欧米豪向けの商流構築や販売・プロモーション



**外国人の愛媛訪問  
宿泊者数の増**



### 1 インバウンドビジネスコンテストの実施 6,000千円



表彰件数：知事賞1件 優秀賞3件  
実施時期：令和5年9月 コンテスト実施（募集期間 5～7月）

### 2 インバウンド受入環境整備 35,000千円

- (1) 地域観光圏域における圏域内事業者が連携したインバウンド受入環境整備を支援  
例：高付加価値化や周遊促進  
【アドベンチャー/サステナブルツーリズムなどの商品開発や成熟】  
：富裕層対策  
【施設改修やガイド養成、富裕層向けタクシーによる2次交通支援】など
- (2) サステナブルツーリズムの国際基準取得支援  
セミナー開催及び専門家派遣

### 3 欧米豪向けの商流構築及び商品販売、プロモーションの実施

22,000千円

- (1) 国内外のエージェントと県内事業者とをマッチングする商談会の開催
- (2) 豪州市場を主な対象に、海外旅行会社への旅行商品売り込み・商談会出展等
- (3) 欧米豪市場におけるデジタルプロモーション事業（JNTO等と連携したプロモーション）

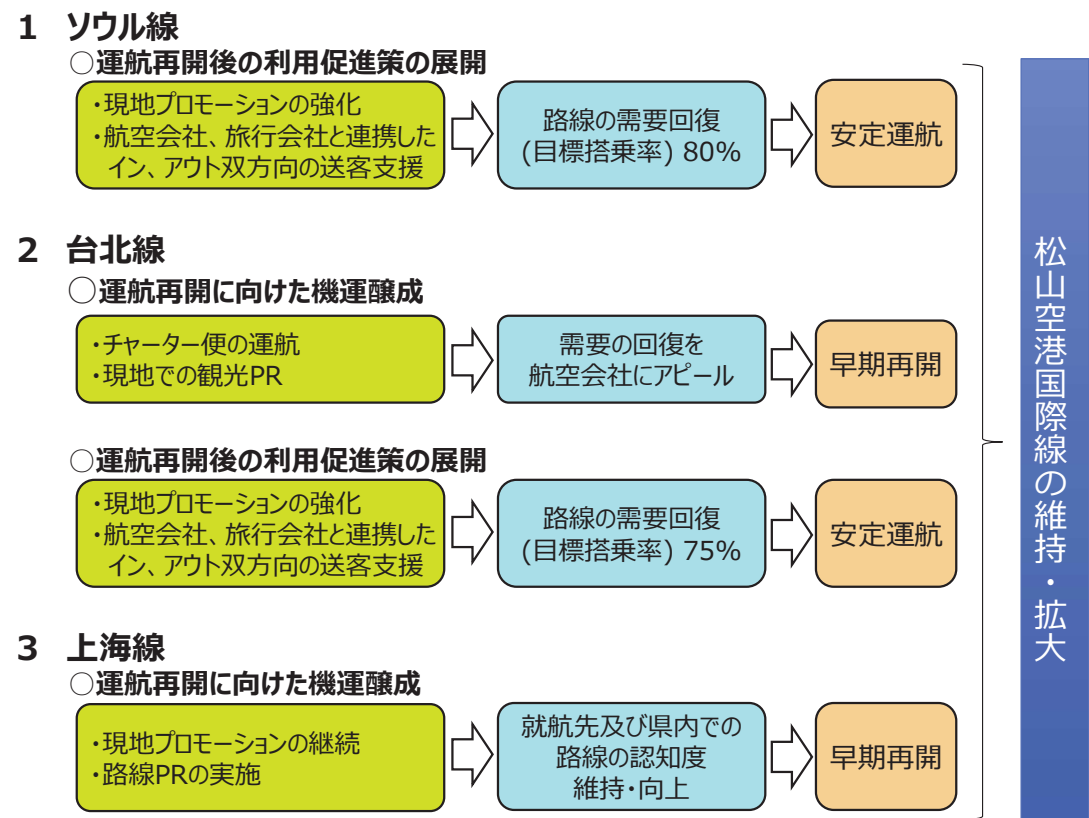
# 14 松山空港国際線需要回復促進事業費

上海線・台北線の早期再開に向け、現地での知事トップセールスや、チャーター便の運航に取り組み、路線の認知度維持及び再開への機運醸成を図るとともに、ソウル線・台北線の再開後の安定運航に向け、インバウンド・アウトバウンド双方で各種の利用促進やプロモーションを実施することで、需要の回復を図る。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局観光交流局  
 観光国際課航空政策室  
 (089-912-2313)

事業イメージ	KPI	松山空港に就航する国際線各路線の年間利用者数	現状値	0人 (R5.1時点)
		(コロナ禍からの運航再開と増便を見込む)	目標値	17.6万人 (R8年度)

## 事業概要



- <ソウル線>**
- インバウンド 88,723千円 (県：59,059千円、松山市：29,664千円)
    - ・航空会社と連携したプロモーション
    - ウェブ広告やデジタルメディア等でのPR
    - ・韓国向け愛媛ゴルフ旅行誘致
    - 韓国人向けガイドブック作成・FAMツアーの実施
    - ・旅行商品造成支援、現地代理店によるPR 等
  - アウトバウンド 36,469千円 (県：27,782千円、松山市：8,687千円)
    - ・航空会社と連携したFIT利用促進
    - 航空会社HPでの航空券割引キャンペーン
    - ・若年層向け集中プロモーション
    - ウェブやイベントを通じた女性メインの情報発信 等
    - ・旅行商品造成支援
- <台北線>**
- インバウンド 123,950千円 (県：91,427千円、松山市：32,523千円)
    - ・航空会社と連携したプロモーション
    - SNSを通じた動画配信等による運航再開PR
    - ・チャーター便の運航支援
    - ・旅行商品造成支援、現地代理店によるPR 等
  - アウトバウンド 38,408千円 (県：29,350千円、松山市：9,058千円)
    - ・運航再開集中プロモーション
    - 印刷物やビジョン広告等による運航再開PR
    - ・旅行商品造成支援 等
- <上海線>**
- インバウンド 22,583千円 (県：18,335千円、松山市：4,248千円)
    - ・現地代理店による愛媛PR (上海・西安)
    - ・航空会社と連携したFAMツアー 等
  - アウトバウンド 3,621千円 (県：3,258千円、松山市：363千円)
    - ・現地からの生中継による魅力発信と路線PR 等
- <主要空港等経由の需要回復ツアー事業>**
- インバウンド 3,000千円 (県：3,000千円)
    - 主要空港等を利用した旅行商品の造成支援

# 15 ベトナム定期航空路線誘致促進事業費

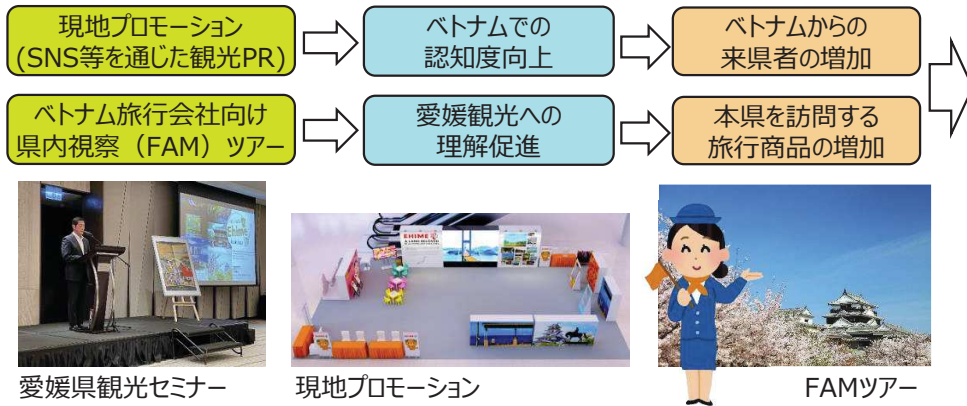
ベトナムとの定期航空路線開設に向け、同国における観光PRや現地旅行会社向けのFAMツアーに取り組み、インバウンド需要の開拓を積極的に進めるとともに、チャーター便の運航等を通じ、インバウンド・アウトバウンド双方で、路線の認知度向上に取り組み、就航の早期実現につなげる。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局観光交流局  
 観光国際課航空政策室  
 (089-912-2313)

## 事業イメージ

<b>KPI</b>	松山空港チャーター便の年間利用者数 (9便の運航を目指す)	現状値	335人 (R4年度)
		目標値	1,506人 (R5年度)

### 1 インバウンド需要開拓に向けたプロモーション



### 2 チャーター便の運航促進



## 事業概要

### <インバウンド対策>

- ベトナムにおける愛媛県プロモーション事業 **37,000千円**  
 (県27,750千円 松山市9,250千円)  
 SNS等を活用したPR及び現地代理店による継続的なプロモーション
- ベトナム現地旅行会社等による県内視察事業 **7,000千円**  
 (県5,250千円 松山市1,750千円)  
 現地旅行会社を招請した県内視察ツアー及び商談会
- ベトナムチャーター便インバウンド利用促進事業 **32,400千円**  
 (県24,300千円 松山市8,100千円)  
 チャーター便を利用した旅行商品の造成費用の補助  
 おもてなし経費の補助

### <アウトバウンド対策>

- ベトナムチャーター便アウトバウンド利用促進事業 **11,550千円**  
 (県8,663千円 松山市2,887千円)  
 旅行商品造成費用の補助  
 チャーター商品広告費補助

### <イン・アウト共通>

- ベトナムチャーター便運航支援事業 **2,500千円**  
 (県1,875千円 松山市625千円)  
 空港施設使用料補助
- 訪問団派遣事業 **3,969千円**  
 (県3,519千円 松山市450千円)  
 航空会社や旅行会社へのセールス活動等



# 16 四国一周サイクリング推進事業費

世界に通用するサイクリングアイランド四国の実現に向けて、四国一周サイクリングの愛媛発着の定着に向けた取組みの強化や、台湾におけるインバウンド等の促進、交流の深化を図るほか、本県がけん引役となって4県で連携した情報発信を行い、四国一周サイクリングの更なる認知度向上を目指す。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化部観光交流局  
 自転車新文化推進課  
 (089-912-2234)

**事業イメージ** **KPI** 四国一周チャレンジ登録者・完走者数 **現状値** 登録者947人/年 完走者516人/年 (R1)  
 (コロナ禍前水準への回復を目指す) **目標値** 登録者3,000人、完走者1,500人(R5~7年度累計)

	累計	H29	H30	R元	R2	R3	R4 9月末	R5 目標
登録者	4,064	554	950	947	546	626	441	1,000
完走者	1,595	35	238	516	243	319	244	500

**本県独自の取組み**

- 愛媛発着の定着
- 台湾との交流によるインバウンドの促進 (誘客プロモーションの実施)



**4県連携の取組み**

- サイクリストの受入環境の整備
- 共同プロモーションの実施



**事業概要**

- 1.愛媛起点の四国一周サイクリングの定着に向けた取組み 36,135千円**
  - (1)四国一周チャレンジ1000kmプロジェクト (5,720千円)**
    - 四国一周挑戦者をWEB登録、GPSデータ等で完走証発行・記念品進呈
  - (2)「愛媛発着」の定着に向けた四国一周プロモーション活動 (26,953千円)**
    - ①プロモーション企画 [23,532千円]
      - 初日行程をガイドが同行しサポートする愛媛発「四国一周サポートRIDE」の実施
      - SNS等を通じた若者目線での情報発信を行う「若者応援プロジェクト」の開催
      - 台湾におけるプロモーション活動によるインバウンド等の促進や「Formosa900」参加による交流の深化【拡充】
    - ②四国一周ファンミーティング (+しまなみ訪問の仕掛け) [3,421千円]
      - 四国一周チャレンジ中のサイクリストや完走者等による交流 (「しまなみ」で開催)
  - (3)ホームページ運営費 (2,200千円)**
  - (4)四国一周サイクリングキャラバン (1,262千円)**
- 2.四国4県の連携強化 1,318千円**
  - (1)サイクリングアイランド四国推進協議会事業**
    - サイクリストの受入環境の整備、共同プロモーションの実施

《スキーム》



四国一周 サイクリストの誘客を促進し、交流人口を拡大

# 17 しまなみ広域サイクルツーリズム圏域形成促進事業費

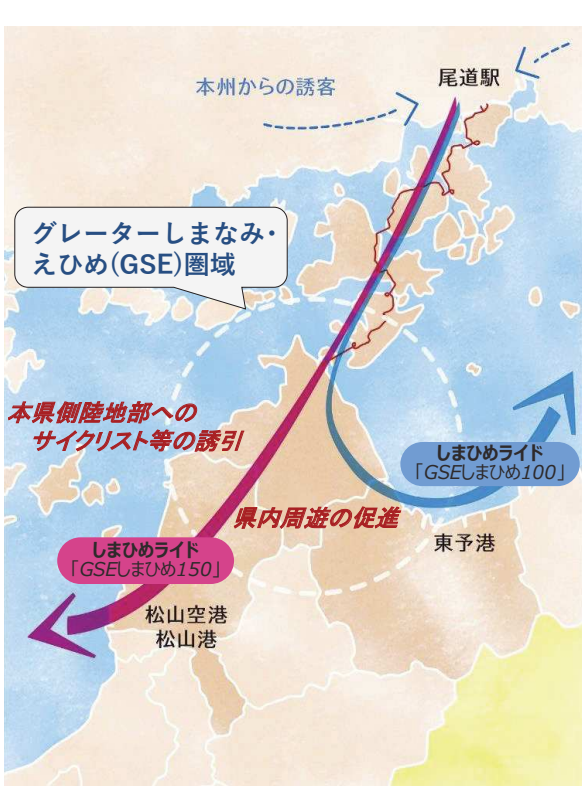
瀬戸内地域をサイクリングワールドとするため、現在、本四高速及び瀬戸内8県で取組みを進める「Setouchi Vélo」構想と連動し、本県独自の取組みとして、しまなみ海道と隣接する本県側エリアに形成する広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ(GSE)」で、滞在型観光の推進に資する仕掛けづくりや環境整備に取り組む。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局観光交流局  
 自転車新文化推進課  
 (089-912-2234)

### 事業イメージ

<b>KPI</b> 本県側エリアを訪れるしまなみ海道サイクリング観光客の年間人数 (12.5%/年増)	<b>現状値</b> 132,000人 (H30年度)
	<b>目標値</b> 165,000人 (R6年度)

## 来島海峡大橋をフックとした、本県側エリアでの新しい自転車旅「しまひめライド」の提案による実需の創出と地域経済の活性化



### 観光客の旅行の動き(一例)

- 尾道駅着
- 愛媛側へサイクリング
- 来島海峡大橋サイクリング
- 松山 or 西条方面へサイクリング
- 飲食・宿泊・体験
- 松山空港・東予港・松山港発

本県ならではの観光資源等が点在するサイクリングルートをも、スタンプラリー形式で自由に周遊する「しまひめライド」への参加  
 ▶ 多彩な観光施設・食・文化等の堪能 (通過型から「滞在型観光」への転換)

### 事業概要

※国補助金の活用、地元市町からも負担金を徴収(協議会に直入)  
 協議会事業総額：35,500千円

- 1. GSE圏域での誘客・周遊促進の仕掛けづくり 5,875千円**(協議会23,500)
  - (1)しまひめライドイベントの実施 (サイクリングしまなみと隔年で実施)
  - (2)しまひめライドイベントの機運醸成に向けた地域連携プロモーション【新規】
  - (3)しまひめライドの利用者・事業者の増加に向けたプロモーション【新規】

※しまひめライド：圏域に設定するサイクリングルートでの周遊等促進策 (スタンプラリー形式)
- 2. GSE圏域でのサイクリング環境整備 2,750千円**(協議会11,000)
  - (1)周遊促進に資する基盤整備等への支援 (補助事業)【新規】
  - (2)「JR松山駅～伊予西条駅」間のサイクルトレインプロモーション
  - (3)レンタサイクル広域乗捨てシステムの拡充
  - (4)手荷物等当日配送システムの拡充
- 3. 事業推進費 (協議会事務局) 250千円** (協議会1,000)

### 《スキーム》

#### しまなみ広域サイクルツーリズム圏域形成促進協議会 (仮称)

#### 構成メンバー (予定)

- 【行政】 国機関、愛媛県、松山市、今治市、西条市、上島町
- 【参画事業者】 地域コンテンツ等の事業者
- 【関係団体】 経済団体・観光団体・DMO

#### 《連携》



# 18 しまなみ海道魅力向上事業費

ナショナルサイクルルートに指定されている「しまなみ海道エリア」の世界ブランド化を目指し、地元市町や民間団体と連携・役割分担の上、サイクルツーリズムの深化に向けた事業を推進することで、しまなみ海道の発展と持続的な地域振興を図る。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化局観光交流局  
 自転車新文化推進課  
 (089-912-2234)

## 事業イメージ

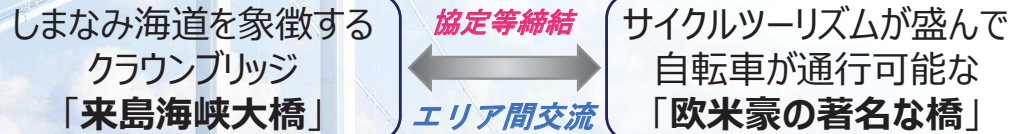


しまなみ海道の海外サイクリング観光客数（年間）  
（レンタサイクル利用者数:コロナ禍前水準から10%程度/年増）  
**現状値** 23,000人（R1年度）  
**目標値** 29,500人（R6年度）

## 事業概要

しまなみ海道エリアの世界ブランド化に向け、サイクルツーリズムが盛んでしまなみへの来訪者数の伸びが顕著な「欧米豪」へのプロモーション等

### 橋を核とした「欧米豪」との継続的な「エリア間交流」の推進



### 効果的なデジタルマーケティング ～「CYCLING EHIME」の活用～

ポータルサイト「CYCLING EHIME」の内容充実と  
 国内外へのWEB広告等による効果的なデジタルマーケティング



しまなみ海道エリアの発展と地域振興  
 サイクルツーリズムの深化+情報発信力の強化による「世界ブランド化」

## 1. 戦略的・政策横断的な振興政策 39,848千円

### (1) 来島海峡大橋を核としたサイクルツーリズムブランド形成

#### ① 来島海峡大橋と欧米豪著名橋を核としたエリア間交流(14,848千円)

- 自転車が行き来可能な橋を有するサイクルツーリズムの盛んな欧米豪エリアとの交流に向けた協定等の締結を目指し、現在、交渉中の団体(豪州・ニューサウスウェールズ州政府交通局など)との継続協議等を実施

#### ② デジタルマーケティング・サイクリスト誘客 (25,000千円)

- ポータルサイトにおいて、しまなみ海道エリアに関する情報の充実を図り、本県誘客のフックとしての機能を強化
- 自転車施策に係るWEB広告等の高度な分析を行い、ターゲットの明確化やエビデンスの蓄積を図り、費用対効果の向上によって更なる実需を創出

## 2. エリアマネジメント組織の形成に向けた政策【ゼロ予算】

### (1) 行政間での連携体制構築

### (2) 民間プレーヤーのネットワーク化・官民連携体制の構築

### 《スキーム》





# 19 豪州サイクリスト誘客促進強化事業費

令和5年度当初予算（案）  
予算額 19,967千円

橋を核とした豪州政府関係機関との交流促進の合意を契機に、インバウンド等を促進するため、豪州コアサイクリスト向けのモニターツアーや、豪州人のサイクリング旅行趣向等の把握・分析に向けた調査を行う。

お問い合わせ先  
観光スポーツ文化局観光交流局  
自転車新文化推進課  
(089-912-2234)

### 事業イメージ

KPI	しまなみ海道の豪州サイクリング観光客数（年間）	現状値	2,200人（R1年度）
	（レンタサイクル利用者数:コロナ禍前水準から25%/年増）	目標値	2,750人（R5年度）
	豪州向けツアーを造成する県内旅行業者の割合	現状値	-
	（情報を提供した事業者の8割以上を目指す）	目標値	80%（R5年度）

### 【以下の好条件を絶好の機会と捉え、豪州からの誘客強化を図る】

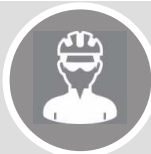
- 豪州政府機関との、橋を核としたエリア間交流に向けた合意形成を進めているが、現地サイクリング人気の後押しにより、他国より調整が先行
- 日本と豪州は時差が少なく、季節が反対のためコア層を獲得しやすい
- 豪州ではサイクリング人気が高い
  - ・しまなみ海道のレンタサイクル外国人利用者の豪州人が増加傾向（2019年台湾に次ぐ2位）
  - ・世界的に有名な豪州の旅行ガイド本制作会社ソニー・プラネットのガイドブック「世界の魅力的なサイクリングルート50選」に、日本で唯一しまなみ海道が掲載

### 誘客の課題



- どのように愛媛県に行けばいいか不明
- アフターコロナでの誘客に向けて地域間競争が激化

### 客層把握の課題



- 効果的なプロモーションに向けた情報不足
- プロモーション手法が確立されていない

地域間競争を勝ち抜くためには、**早期の課題解決が必要**

### モニターツアーの開催



モニターツアーを契機に、本県の魅力訴求等が進展し、愛媛が豪州人における日本での旅行選択肢の1つへ

### 市場調査の実施



正確なニーズや誘客プロモーション手法等に係る情報を把握・分析・提供することで、民間活動を促進

### 事業概要

#### 1 豪州コアサイクリスト向け「モニターツアー」の実施 11,118千円

しまなみ海道等をベースに、アクティビティを組み込んだ旅行商品を造成・販売し、コアサイクリストによる情報発信・拡散等を図り、認知拡大や誘客促進につなげる。

- 催行時期：令和5年9月頃
- 参加者：豪州(現地)のコアサイクリスト
- モニターツアープラン(想定)：「愛媛県内」滞在型プラン

#### 2. 豪州サイクリング旅行市場等に関する調査の実施 8,849千円

豪州人のサイクリング旅行趣向やニーズ等を把握・分析するとともに、民間事業者等に提供することで、効果的な誘客プロモーション手法の確立等につなげる。

- 実施時期：令和5年11月～6年1月
- 実施方法：アンケート調査（Webまたは実地）  
※上記モニターツアー参加者にも実地アンケートを実施

### 《スキーム》



## 20 全国旅行支援事業費

コロナ禍において県内観光産業の厳しい状況が続く中、国からの事業原資の追加交付を受け、本県でも「えひめぐり みきゃん旅割」の販売を継続することで、観光需要を喚起し、地域経済の活性化に繋げる。

お問い合わせ先  
 観光スポーツ文化部観光交流局  
 観光国際課  
 (089-912-2491)

### 事業イメージ

**KPI** 「えひめぐり みきゃん旅割」利用者数  
 (誘客の目標数) **現状値** 123万人泊 (補正前の誘客目標数)  
**目標値** 127.5万人泊 (4.5万人分の追加確保)

### 全国旅行支援

コロナ禍で低迷する観光需要の喚起策  
 国は年明け以降も継続して実施中、5年度も継続予定  
 (追加交付分の繰越について現在調整中)

### 【本県実施状況】

『えひめぐり みきゃん旅割』を実施中

### 1 事業内容

- ・割引率 : 20%
- ・上限金額 : (宿泊・日帰り)3,000円/人(泊)  
(交通付)5,000円/人泊
- ・クーポン金額 : (平日)2,000円  
(休日)1,000円

### 2 対象者

本県を旅行する国内居住者

### 3 執行状況

約60万人泊  
 (令和4年12月時点)



### 事業概要

国の追加支援に伴い、4.5万人泊分を追加で確保  
 (合計127.5万人泊分)

- 1 宿泊旅行代金割引原資の増額【225,000千円】  
 $5千円 \times 4.5万人泊 = 225,000千円$
- 2 地域限定クーポンの発行原資の増額【90,000千円】  
 $2千円 \times 4.5万人分 = 90,000千円$
- 3 事務費の増額【19,656千円】  
 事業費の6%相当

### 【スキーム】

